



地震

清水町 戸畑地区

わたしの避難計画 作成ガイド

手順④ 地震・液状化のリスクを確認(記入はありません)

◎戸畑地区の地震による危険

震度5弱から震度6弱の揺れと、液状化の可能性が想定されています。

◎震度と体感

震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につかまると感じる	物につかまらなと歩くことが難しい	立っていることが困難になる	這わないと動くことができない	耐震性の高い木造建物でも傾くことがある

◎液状化が発生した場合

マンホールなどの埋設物が浮き上がったたり、道路に段差が発生したりする可能性があります。避難する際には足下に注意しましょう。

手順⑤ 大地震発生時の安否確認方法を確認し、記入

大地震発生時

- ①体勢を低くし、固定されたテーブル等の下に入り頭を守る
- ②動かずじっとする

揺れが収まったら

- ①ブレーカーを落とす(通電再開時における発火の防止)
- ②ガスを止める

各地区の
一次避難
先に集合

自宅に被害があったら

指定避難所へ避難

自宅に被害がなかったら

自宅で待機

山折り

★戸畑地区の一次避難先の一例

- ・戸畑児童遊園地 など

情報収集手段に関する紹介

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設が確認できます。



清水町 緊急防災メール

避難情報やハザードマップが確認できます。



土砂災害の危険度、河川の様子を確認できます。



国交省 川の防災情報 (狩野川)

<目次>

	手順① 家族で避難に時間がかかる人を記入	P1
大雨	手順② ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入	P2
	手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入	P3
地震	手順④ 地震・液状化のリスクを確認(記入はありません)	P4
	手順⑤ 大地震発生時の安否確認方法を確認し、記入	P4

<見本>

作成日 2020年〇月〇日 わたしの避難計画 (清水町 〇〇地区)

作成ガイドを見て家族の状況や災害リスクなどを記入しよう!

手順① 家族で避難に時間がかかる人を記入

避難に時間がかかる人 いる 1人 → 支援してくれる人の名前 いない

避難先 連絡先

手順② ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

河川氾濫の危険 浸水のおそれ 浸水なし 浸水あり 浸水深 0.5~3.0 m

家屋倒壊等氾濫想定区域に ない / ある

土砂災害の危険 該当なし 土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域

ご自身に必要なものをあらかじめ用意しておきましょう。【持ち出し品リストの一例】

現金・通帳 携帯ラジオ 携帯電話 充電器 懐中電灯 マスク 飲料水 非常食 着替え 常備薬・持病薬 消毒液 体温計

その他の持ち物【 1 】

大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう!

手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

大雨 あり / なし 土砂災害の危険 あり / なし

●避難のタイミング 高齢者等避難

●避難先 叔母の家

●情報収集手段 清水町緊急防災メール

自由記入欄 (連絡先等) 叔母 090〇〇

手順⑤ 大地震発生時の安否確認方法を確認し、記入

大地震がおさまる

地震 地震

・ブレーカーを落とす・ガスを止める
・窓を開ける

地区の一次避難先 〇〇児童公園 に集合

自宅に被害があったら 指定避難所へ

自宅に被害がなかったら 自宅で待機

自由記入欄 (連絡先等)

----- ↓手順に従って、「わたしの避難計画」に記入しましょう ↓ -----

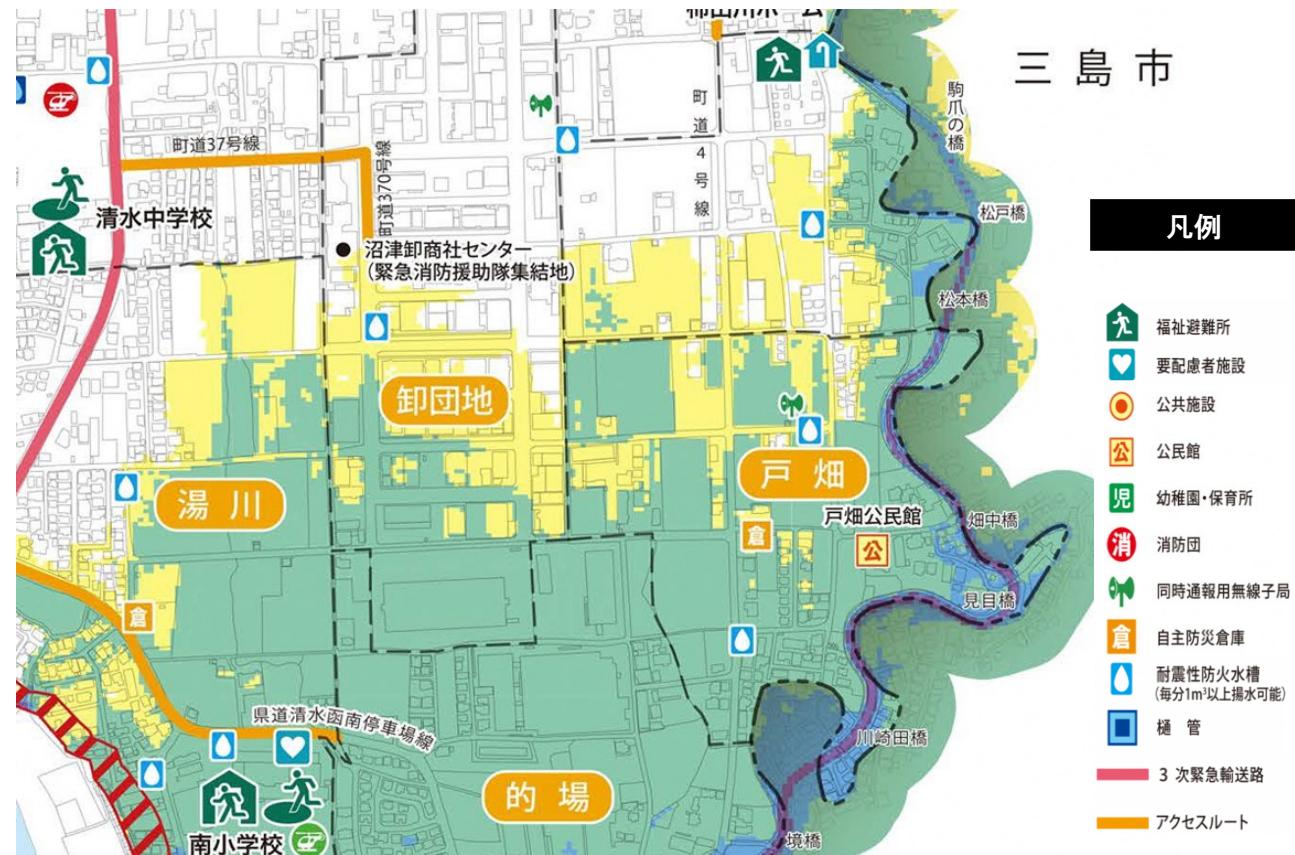
手順① 家族で避難に時間がかかる人を記入

- ・避難に時間がかかる人がいるかどうか、「わたしの避難計画」に記入しましょう。
- ・避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらおう方を決めておきましょう。
避難支援の相談先：地元の民生委員
清水町福祉介護課地域福祉係

大雨(河川氾濫・土砂災害)

手順② ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を地図に記入しましょう
(わかりにくい場合は清水町防災ハザードマップで確認しましょう)

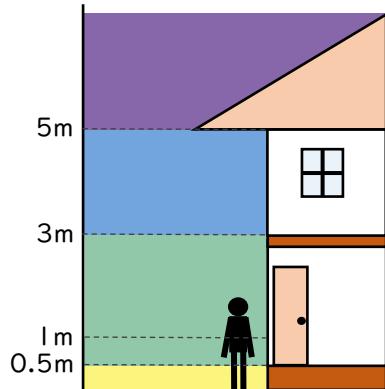
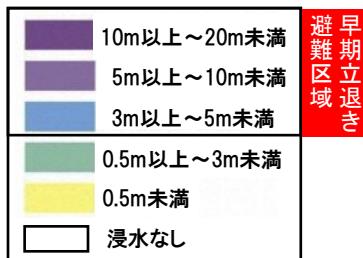


清水町防災ハザードマップより

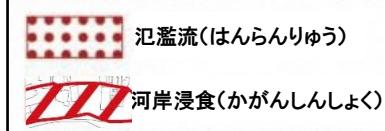
イ 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

河川氾濫の危険

○浸水深
川が氾濫した場合に
浸水するおそれがある区域



○家屋倒壊等氾濫想定区域
川が氾濫した場合に、家屋が
流出するおそれがある区域



土砂災害の危険

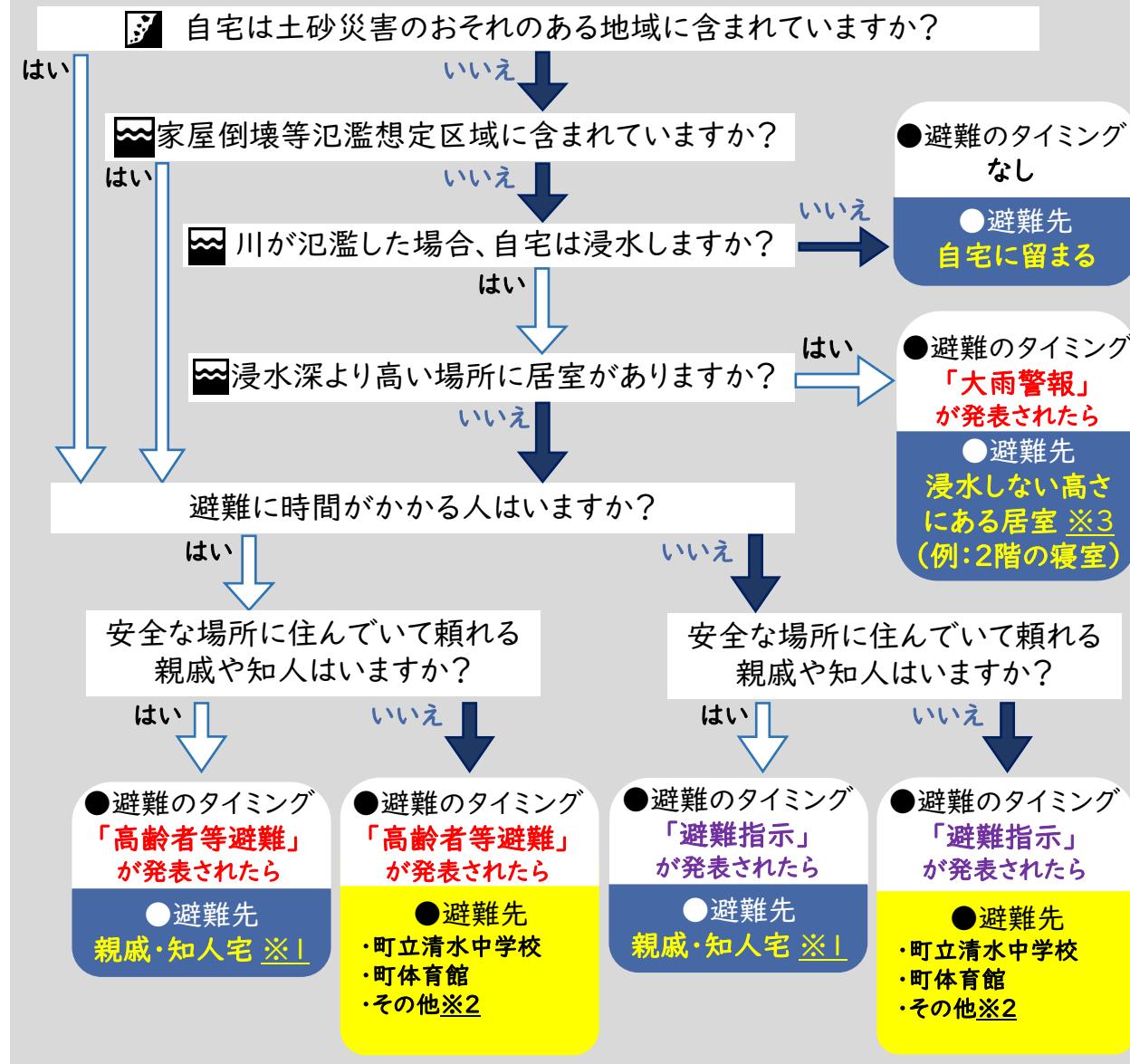
○土砂災害警戒区域
土砂災害のおそれのある区域

○土砂災害特別警戒区域
土砂災害が発生した場合、
建物の破壊が生じ、住民等の生命
や身体に著しい危害が生じる
おそれのある区域



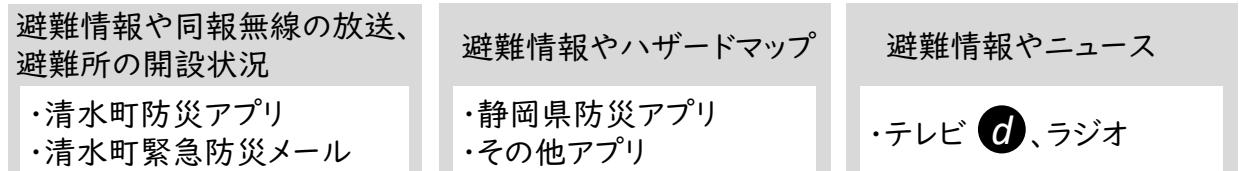
手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。
※2 ホテルや温泉施設等への避難も避難場所の選択肢の一つです。
※3 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しておきましょう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※町の防災アプリや緊急防災メール、県防災アプリについて、4ページに2次元コードを掲載しています。